

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)

【公開番号】特開 2005-196258 (P2005-196258A)  
【公開日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)  
【年通号数】公開・登録公報 2005-028  
【出願番号】特願 2003-435288 (P2003-435288)  
【国際特許分類】

**G 0 6 K 17/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 K 17/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 25 日 (2006.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

顧客に発行するカードに情報を記録する情報処理装置であって、  
顧客に発行する第 1 のカードに第 1 の情報を記録する第 1 の記録手段と、  
前記第 1 の情報を暗号化した第 2 の情報を作成する暗号化手段と、  
前記第 2 の情報を、前記第 1 のカードとともに前記顧客に発行される第 2 のカードに記録する第 2 の記録手段と  
を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記第 1 , 2 のカードの発行後、前記第 1 の情報を含む前記第 1 のカードに関する情報、前記第 2 の情報を含む前記第 2 のカードに関する情報を関連づけて保持する保持手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記第 1 , 2 のカードの発行後、前記第 1 のカードの使用を停止する旨が入力された場合、

前記情報処理装置とデータ通信が可能で、且つ前記第 2 のカードに対する情報の読み書きが可能なカード装置に対して、前記第 2 のカードに記録された前記第 2 の情報を読みとって前記情報処理装置に送信する指示を送信する第 1 の指示手段と、

前記第 1 の指示手段による指示に応じて前記カード装置から送信された前記第 2 の情報を復号し、前記第 1 の情報を復元する復元手段と、

前記復元手段により復元された前記第 1 の情報を前記カード装置に対して送信するとともに、送信した前記第 1 の情報を前記第 2 のカードに記録するよう前記カード装置に対して指示する第 2 の指示手段と、

前記復元手段による復元前の前記第 2 の情報を、前記顧客に対して発行される第 3 のカードに記録する第 3 の記録手段とを備え、

前記保持手段は改めて、前記復元手段により復元された前記第 1 の情報を含む前記第 2 のカードに関する情報と、前記復元手段による復元前の前記第 2 の情報を含む前記第 3 のカードに関する情報とを関連づけて保持することを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記第 1 の情報は、前記第 1 のカードに記録すべき 1 つ以上のアプリケーションのデータであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

顧客に発行するカードに情報を記録する情報処理方法であって、  
顧客に発行する第 1 のカードに第 1 の情報を記録する第 1 の記録工程と、  
前記第 1 の情報を暗号化した第 2 の情報を作成する暗号化工程と、  
前記第 2 の情報を、前記第 1 のカードとともに前記顧客に発行される第 2 のカードに記録する第 2 の記録工程と  
を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項 6】

コンピュータに請求項 5 に記載の情報処理方法を実行させる為のコンピュータプログラム。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のコンピュータプログラムを格納したことを特徴とする、コンピュータ読みとり可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

メモリ 302 には、管理サーバ 102 の制御によりリーダライタ装置 106 が書き込むカード 300 固有の情報や、カード 300 の所有者固有の情報、そして CPU 301 が通信部 303 を介してリーダライタ装置との通信を制御するためのアプリケーションのプログラムやデータが記憶されている。また、後述する追加アプリケーションのプログラムやデータも記憶する。通信部 303 は、カード 300 を挿入するリーダライタ装置とのデータの受け渡しを制御する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

領域 1304 は、予備カードに記録すべき情報を暗号化する場合のパスワードを記録するための領域である。このパスワードは、図 10 の新規カード発行画面でユーザがキーボード 208 やポインティングデバイス 209 等を利用して入力したパスワード情報であることが好ましい。領域 1305 はアプリケーションのプログラムやデータを記録するための領域で、1 つ以上のアプリケーションのプログラムやデータを記録することができる。領域 1305 において領域 1305 a は、通信部 303 を介してリーダライタ装置とのデータ通信を制御したり、メモリ 302 へのデータの読み出し、書き込みを制御したりといった、メインカードが最低限機能するための処理を CPU 301 に実行させるための基本アプリケーションのプログラムやデータを記録するための領域である。